

名古屋能楽堂



Nagoya Noh Theater

六月定例公演

レクチャー公演

能

もみじがり
「紅葉狩」(観世流)
シテ 久田三津子

狂言

しゅうろん
「宗論」(和泉流)
シテ 鹿島俊裕・井上松次郎

令和8年

6月14日(日)

14:00開演 (13:00開場)

指定席 3,200円

自由席(一般) 2,200円

自由席(学生) 1,000円

4月14日(火)より 前売券発売

能「紅葉狩」
提供:久田家

豊臣能楽 ～豊臣家の能と狂言～

秀吉の関白就任、「豊臣」誕生!

秀吉は天正十三年七月十一日、従一位関白に就任します。このために彼はいったん「藤原」姓となりますが、この職を自分の一族・羽柴家が継承できるよう改姓を朝廷に願い出ます。それが認められ(名字は羽柴のまま)「豊臣」姓を賜って翌年に太政大臣となり、ここに世にいう“豊臣秀吉”が誕生しました。

『宇野主水日記』によると、秀吉は天正十三年七月十三日、関白叙任のお礼に禁中にて手猿楽堀池に五番の能を舞わせています。手猿楽とは素人出身の能役者の意味ですが、この時代には座に属していない役者が禁裏や公家の邸で活躍していました。

六月定例公演では、この堀池五番の能の演目より《紅葉狩》を、また『太閤記』(小瀬甫庵)で紹介される文禄二年四月九日肥前名護屋本丸で行われた能の番組より狂言《宗論》をご覧いただけます。異なる世界や立場の“出会い”がもたらす二つのドラマは見どころ聴きどころがいっぱいです!



公認文化プログラム
Aichi-Nagoya 2026

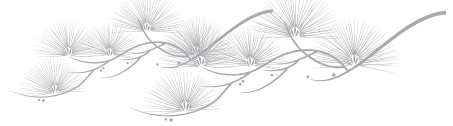
主催



名古屋市文化振興事業団 [名古屋能楽堂]

公益社団法人 能楽協会 名古屋支部

*六月定例公演は「レクチャー公演」として通常の定例公演に比べ低料金で、解説付きとなっています。



番組

◇ 能楽師によるレクチャー解説・午後二時から十五分
『宗論』について 井上松次郎

狂言 宗論(和泉流)

シテ 浄土僧 鹿島 俊裕
シテ 法華僧 井上松次郎
アド 宿屋 野村又三郎

休憩十五分

後見 佐藤 友彦

◇ 能楽師によるレクチャー解説・休憩後(十五分)
『紅葉狩』について 山中 雅志

能 紅葉狩(観世流)

前シテ 紅葉狩の女 久田三津子
後シテ 鬼神
ツレ 同行の女 瀬戸 洋子
ツレ 同行の女 村井 邦子
ツレ 同行の女 山脇由美子
ワキ 平維茂 飯富 雅介
ワキツレ 太刀持 橋本 幸
ワキツレ 勢子 高安 受壽
アイ 侍女 今枝 郁雄
アイ 末社之神 井上 蒼大

(午後四時四十五分頃終演予定)

地謡
伊藤 裕貴 後見
吉沢 幸親 山田 義高
松山 幸親 林本 大
伊藤 裕貴 今村 哲朗
山田 義高 下川 宜長
竹市 昭弘 船戸 眞之介
河村 眞之介 加藤 洋輝
大鼓 太鼓 小鼓 笛

◇ 狂言「宗論」(しゅごん)

甲斐國・身延山歸りの法華僧が、街道で同じ僧態の男に声を掛け道々同行の運びとなります。ところが宗派を聞けば信濃國・善行寺歸りの浄土僧、つまりは犬猿の仲の間柄です。二人は互いに信仰する宗旨(宗派)を根拠・主義を自慢したり相手に宗派替えを迫ったりと、両者の珍妙な論争は果てしなく、挙げ句には夜を迎えてともに寝てしまいます。翌朝目覚めれば今度は早々から読経争い、さてこの宗教論争の落ち着く先や如何に……。

《宗論》とは宗派の優劣を競う論争で、室町時代には特に法華宗と浄土宗の間で盛んに行われていたとの事。法華僧の説く「五十転々随喜の功德(ゴジュウテンテンズイキノクドク)」、浄土僧の説く「一念御陀仏即滅無量財(イチネンミダブツ ソクメツムリヨウザイ)」を信念に、本作に於いては軽妙洒落な黒谷の浄土僧と、頑固で一途な下京辺の法華僧を対比的に描いて宗旨争いの愚かさや風刺しています。黒谷とは京都東山、法然ゆかりの地である金戒光明寺を指します。

両者の息の合った掛け合いを見どころに、その問答の数々をお楽しみいただければと存じます。
(井上松次郎)

◇ 能「紅葉狩」(もみじがり)

本曲は、今昔物語集や太平記を背景に、信濃国戸隠山に伝わる鬼女伝説を題材とする能である。

秋の一日、山中では高貴な女が侍女を従え、紅葉の下で優雅な酒宴を催している。鹿狩に訪れた平維茂一行は、風流を乱さぬよう馬を降り杵を脱いで控えるが、女に勧められるまま席に着く。盃を重ねるうちに女は艶やかに舞い、維茂はその美しさに心を奪われ、やがて深い眠りに落ちる。女たちは意味深く言い残して姿を消す。夢中に男山八幡の末社の神が現れ、神剣を授けて鬼神退治の神勅を告げる。目覚めると山は雷鳴に包まれ、女は恐ろしい鬼女の本性を現して襲いかかる。維茂は騒がず神剣を抜き、激しい攻防の末に鬼神を斬り伏せ、戸隠の山に巣くう魔を退治する。

華やかな宴から一転して修羅の戦いへと展開し、優美な女性の姿が鬼へと変貌する対比や、妖艶な美と勇壮な戦いの緊張感が鮮やかに描かれる。
(久田三津子)

◇ 『イヤホン・ガイド』
能「紅葉狩」

日本語／橋場夕佳(東邦高等学校教諭)
英語／藤江さおり(通訳ガイド)

●都合により出演者の変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

六月定例公演事前学習講座

5月30日(土) 14:00~15:30

受講チケット500円

◆能「紅葉狩」のあらすじ、見どころを解説します。詳細は事前学習講座チラシをご覧ください。

※事前学習講座のチケットは、名古屋市文化振興事業団の管理する文化施設窓口にて取り扱いをしております。

チケット料金(税込み) *前売券発売日 令和8年4月14日(火)

| | 指定 Reserved | 自由 Non reserved | |
|-----------------|----------------|-----------------|------------------------------------|
| | | 一般 Adult | 大学生(25歳)以下 Student 25 and under |
| 前売 Advance sale | 3,200円 | 2,200円 | 1,000円 |

*学生券は25歳以下を対象とします。*未就学児のご入場はお断りいたします。
*チケットは1回につき4枚までの販売とさせていただきます。

*事業団友の会会員・障がい者手帳等をお持ちの方(付添者1名含む)は300円引きです。(学生券の割引はありません。)
(名古屋能楽堂・事業団チケットガイド・事業団施設窓口のみ、各割引の併用はできません。)

前売券取扱所 Ticket Office

名古屋能楽堂 / TEL.052-231-0088

*前売券発売日当日は、お電話がつながりにくいことがあります。

名古屋市文化振興事業団チケットガイド / TEL.052-249-9387

(平日9:00~17:00 / チケット郵送可)

名古屋市文化振興事業団が管理する文化施設窓口(土日祝日も営業)でもお求めいただけます。

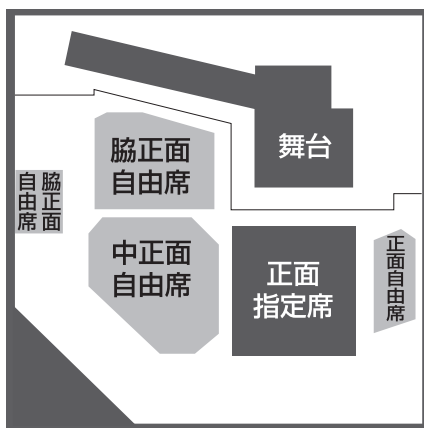
(工事休館などがありますので、ホームページでご確認ください。)

チケットぴあ / Pコード540-631

*外国籍が証明できるパスポート等を持参された方には前売・当日とも割引きます。(名古屋能楽堂取扱いのみ)

Discount is available by showing passport or other proof of foreign nationality. (at Nagoya Noh Theater only)

お問い合わせ / 名古屋能楽堂 TEL 052-231-0088 FAX 052-231-8756



〒460-0001 名古屋市中区三の丸一丁目1番1号

公演についての最新の情報は名古屋能楽堂ホームページをご覧ください。



https://www.bunka758.or.jp/facility/nougakudo/